

※当該データには，出願に必要な所定の様式は含まれておりません。
出願する方は，必ず郵送にて募集要項を請求してください。

令和3年度

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
保健学専攻（修士課程）

学生募集要項 （追加募集）

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

○ 医歯薬学総合研究科保健学専攻（修士課程）	
教育理念・アドミッション・ポリシー・・・・・・・・・・・・・・・・	1～2
I 一般入試・社会人入試・・・・・・・・・・・・・・・・	3～8
1. 募集人員	
2. 出願資格	
3. 新型コロナウイルス感染症に関する対応について	
4. 事前相談	
5. 大学院設置基準第14条に基づく特別措置	
6. 出願資格審査（該当者のみ）	
7. 出願期間	
8. 提出先	
9. 出願書類	
10. 選抜方法等	
11. 合格発表	
12. 入学手続	
13. 追加合格等	
14. 注意事項	
15. 障がい等のある入学志願者との事前相談	
16. 個人情報の取扱	
17. 試験場までの交通機関	
18. カリキュラムの変更の可能性について	
19. 試験に関する問合わせ先	
◎ 入学案内・・・・・・・・・・・・・・・・	9～11
◎ 新型コロナウイルス等の感染拡大防止の対応について	
◎ 本研究科所定の用紙	
1. 入学願書	
2. 写真票・受験票・検定料納付証明書貼付票	
3. 出願資格認定申請書	
4. 受験・就学承諾書	
5. 業務歴・内容証明書	
6. 志望理由及び研究の抱負	
7. 振込書	
8. 住所シール	

【教育理念・目標】

医歯薬学総合研究科保健学専攻は、人の健康的な社会生活をサポートするスペシャリストの養成、また、様々な健康水準にある人々を対象に、健康回復・維持・増進のために保健医療活動を、科学的根拠に基づいて効果的かつ効率よく行うことができ、さらに幅広い視点から個人および組織・社会全体にアプローチしていく実践力と専門職としての学問体系を自ら築く力を持つ人材の育成を教育理念とし、修了生に以下の諸能力・資質を身につけることを教育目標としています。

- ・柔軟な思考力と豊かな創造性
- ・社会のニーズに対応し、他領域の人々と連携・協働できる力
- ・倫理的配慮を踏まえた高度な臨床実践能力
- ・科学的根拠に基づいた研究・教育を実践する力
- ・国際的視座にたって活動できる力

【アドミッション・ポリシー】

保健学専攻は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・大学院での専門的な知識と技術の修得に必要な基礎学力を有する。
幅広い見識の上に、より高度化した専門知識や技術を習得するために必要な基礎学力を評価するため、出願時に成績証明書の提出を求めるとともに、入学者選抜で英語と小論文を課します。
- ・思考力や、判断力、表現力に優れている。
序論から結論まで一貫して論理的で整合性のある論文を記述するために必要な思考力・判断力・表現力を評価するため、入学者選抜で小論文を課します。
- ・強い興味や、関心、探求心を有する。
看護学、理学療法学、作業療法学に対する強い興味や関心、探求心を評価するため、出願時に志望理由および研究の抱負の提出を求めるとともに、入学者選抜で面接を課します。
- ・高い倫理性と、他者への共感性や協調性、リーダーシップを有する。
研究実施に必要な高い倫理性と、他者への共感性や協調性、ならびにリーダーシップを評価するため、入学者選抜で面接を課します。
- ・国際的な学術文献の講読に必要な英語読解力を有する。
研究実施に必須である国際的な学術論文の講読に必要な英語読解力を評価するため、入学者選抜で英語を課します。
- ・修士論文コース以外のコースへの進学を希望する場合、看護師免許を有することが必要です。
- ・遺伝看護・遺伝カウンセリングコース、がん看護専門看護師養成コースへの進学を希望する場合、関連する領域における臨床経験（2年以上が望ましい）を有することを求めます。

選抜方法に関する別表（求める素質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

求める素質等		基礎学力	思考力・判断力・表現力	強い興味・関心・探求心	倫理性・共感性・協調性・リーダーシップ	英語読解力
入試区分						
一般入試	成績証明書	○				
	英語	◎				◎
	小論文	○	◎			
	志望理由および研究の抱負		○	◎		
	面接			◎	○	
社会人入試	成績証明書	○				
	英語	◎				◎
	小論文	○	◎			
	志望理由および研究の抱負		○	◎		
	面接			◎	○	
外国人留学生入試	成績証明書	○				
	英語	◎				◎
	小論文	○	◎			
	志望理由および研究の抱負		○	◎		
	面接			◎	○	

 ※出願希望者は出願前に、指導を受けようとする教員と連絡を取り、入学後の研究について必ず相談を行なうこと。

I . 一般入試・社会人入試

1. 募集人員

専攻	募集人員		備考
保健学専攻	10人	修士論文コース（4人程度）	遺伝看護・遺伝カウンセリングコースの人数を含む。
		保健師養成コース（6人程度）	

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者。（※社会人入試出願者は、医療・保健・福祉施設、教育機関、官公庁又は企業において3年以上の専門的な実務経験（通算可）を有し、本研究科入学時に既に就業している者とする。）

- (1) 大学を卒業した者又は令和3年3月末までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和3年3月末までに授与見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和3年3月末までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和3年3月末までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和3年3月末までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は令和3年3月末までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
- (10) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了又は令和3年3月末までに修了見込みで、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和3年3月31日までに22歳に達するもの

注1) 上記(11)は短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の卒業者（修了者）等を示す。

注2) 上記(9)(10)(11)で出願しようとする者は、あらかじめ本研究科が行う下記の「6. 出願資格審査」を受けてから出願書類を提出すること。

ア. 上記(9)の出願資格審査に係る提出書類： ①, ③, ④, ⑤, ⑦

イ. 上記(10)の出願資格審査に係る提出書類： ①, ③, ④, ⑤, ⑦

ウ. 上記(11)の出願資格審査に係る提出書類： ①, ②, ③, ⑥, ⑦, ⑧

注3) 遺伝看護・遺伝カウンセリングコース，保健師養成コースの学生は入学時に看護師の免許を有していることを出願の条件とする。

3. 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては，試験日を延期する場合や選抜方法等を変更（面接をWebにより実施するなど）する場合がありますので，これらのことに留意したうえで出願すること。

なお，試験日の延期等については，1月下旬頃に長崎大学医歯薬学総合研究科の次のホームページにて周知する。（<http://www.mdp.nagasaki-u.ac.jp/index.html>）

また，受験に当たっては，別紙「新型コロナウイルス等の感染拡大防止の対応について」に留意すること。

4. 事前相談

- (1) 出願希望者は出願前に，指導を受けようとする教員と電話，E-mail等で連絡を取り，入学後の研究等について必ず相談を行うこと。
- (2) 研究テーマと指導等教員は9～11ページを参照すること。
- (3) 不明な点や質問は下記へ問合わせること。

問合わせ先：長崎大学生命医科学域・研究所事務部学務課（保健学科担当）

TEL 095-819-7909

5. 大学院設置基準第14条に基づく特別措置

社会人に対しては，容易に受講できるように昼夜開講，集中講義，インターネットを活用した遠隔地授業などを積極的に取り入れ，社会人教育が効果的に進められるように配慮する。

6. 出願資格審査

資格審査は，原則として提出された書類により行うが，面接を行うこともある。面接を行う場合は，直接本人へ通知する。

- (1) 提出期限

令和3年1月19日（火）17時まで

- (2) 提出先

〒852-8520 長崎市坂本1丁目7番1号

長崎大学生命医科学域・研究所事務部学務課（保健学科担当）

- (3) 結果通知

審査・認定の結果は，令和3年1月21日（木）までに本人へ通知する。

- (4) 出願資格審査の提出書類

提出書類	摘要
①出願資格認定申請書	本研究科所定の用紙
②卒業(見込)証明書	出身大学長が証明したもの 大学以外の短期大学等については，最終学校長が証明したもの
③成績証明書	出身大学長が証明したもの 大学以外の短期大学等については，最終学校長が証明したもの
④在学証明書	出身大学長が証明したもの
⑤在学する学部・学科等の履修概要	履修の手引（カリキュラム）・シラバス等を添付すること
⑥業務歴・職務内容証明書	医療・保健・福祉施設，教育機関，官公庁又は企業において3年以上の専門的な実務経験を有する者としてこれまで従事した業務・職務内容等について関係機関等長が証明したもの（関係機関等が複数の場合は，用紙をコピーしてそれぞれ証明してもらうこと） ※一般入試出願者は，本研究科所定の用紙にこれまで従事した業務・職務内容等について関係機関等長が証明したものを提出（関係機関等が複数の場合は，用紙をコピーしてそれぞれ証明してもらうこと）

⑦出願資格審査結果返送用封筒	長型3号の封筒に、郵便番号、住所及び氏名を明記し、374円切手（速達）を貼付したもの
⑧看護師免許証（写し） （遺伝看護・遺伝カウンセリングコース、保健師養成コースの学生のみ）	厚生労働省が発行したもの 看護師免許取得見込の者は国家試験終了後、速やかに厚生労働省発行の登録済証明書（写）を提出すること。

（注）遺伝看護・遺伝カウンセリングコースの学生は、関連する領域において2年以上の臨床経験を有することが望ましい。

7. 出願期間

令和3年1月18日（月）から令和3年1月22日（金）17時必着

※ 検定料を出願締切日に振り込む場合は、その後、当日17時までに書類一式を持参することになるので注意すること。

8. 提出先

〒852-8520 長崎市坂本1丁目7番1号

長崎大学生命医科学域・研究所事務部学務課（保健学科担当）

9. 出願書類

出願書類等	摘 要
入学願書（履歴書）	本研究科所定の用紙
写真票・受験票	本研究科所定の用紙 写真は、上半身、無帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを貼付すること（縦4cm×横3cm）
検定料納付証明書貼付票	検定料払込納付証明書貼付票には、各種銀行の「取扱銀行収納印」が押印された「検定料払込納付証明書」を貼り付けること
卒業（見込）証明書	出身大学長が証明したもの 大学以外の短期大学等については、最終学校長が証明したもの ただし、出願資格審査時に提出した者は不要
成績証明書	出身大学長が証明したもの 大学以外の短期大学等については、最終学校長が証明したもの ただし、出願資格審査時に提出した者は不要
学位授与証明書	出願資格の(2)に該当する者
在学証明書	出身大学長が証明したもの ただし、出願資格審査時に提出した者は不要
志望理由及び研究の抱負	本研究科所定の用紙に、志望した理由（これまでの研究成果を含む。）及び入学後の研究の抱負を記入すること。
業務歴・職務内容証明書 （※社会人入試出願者のみ）	医療・保健・福祉施設、教育機関、官公庁又は企業において3年以上の専門的な実務経験を有する者としてこれまで従事した業務・職務内容等について関係機関等長が証明したもの（関係機関等が複数の場合は、コピーして使用すること） ただし、出願資格審査時に提出した者は不要
検定料	30,000円 振込期間：1月14日（木）～1月22日（金） 1) 既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 検定料を振り込んだが本研究科に出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合、又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には、振り込んだ者の申し出により当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は、原則、入学志願者本人の負担とする。なお、返還の申し出は、出願期間の最終日から14日以内とする。 ※返還に関する問合せ先 長崎大学管理運営部経理調達課資金管理班 TEL 095-819-2060 2) 各種銀行または郵便局の受付窓口で振り込むこと。

	<p>3) 所定の「振込書」を使用すること。ATMは使用不可。</p> <p>4) 振込手数料は入学志願者本人の負担となる。</p> <p>5) 「検定料払込納付証明書」を受付窓口から受け取る際は、必ず取扱銀行収納印を確認すること。（押印がない場合は出願を受理しない。）</p> <p>※令和2年7月豪雨、令和元年台風第19号、北海道胆振東部地震、平成30年7月豪雨、熊本地震又は東日本大震災により被災された志願者には、本学が認めた場合、検定料免除の特例措置を行うので、生命医科学域・研究所事務部学務課（保健学科担当）（Tel 095-819-7909）へ連絡すること。なお、詳細については、本学ホームページ（検定料免除の特例措置）にも掲載している。（http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/support/index.html）</p>
受験票返送用封筒	入学志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記のうえ、374円切手（速達）を貼付したもの
住所シール	合格通知書等の発送用に使用するので、必ず郵便番号・住所・氏名を明記すること。
看護師免許証（写し） （遺伝看護・遺伝カウンセリングコース、保健師養成コースの学生のみ）	厚生労働省が発行したもの 看護師免許取得見込の者は国家試験終了後、速やかに厚生労働省発行の登録済証明書（写）を提出すること。 ただし、出願資格審査時に提出した者は不要。

10. 選抜方法等

入学者の選抜は、英語、小論文及び面接の結果を総合して行う。

試験期日	試験時間	試験科目等	試験場
令和3年 2月11日（木）	9:00～10:30	英語	長崎大学 医歯薬学総合 教育研究棟
	11:00～12:00	小論文	
	13:00～	面接	

- (注) 1. 受験に当たっては、別紙「新型コロナウイルス等の感染拡大防止の対応について」に留意すること。
2. 試験場及び試験室は試験前日に確認しておくこと。
3. 受験者は、試験開始30分前までに所定の試験場（試験室）に集合すること。
4. 試験当日、本研究科から交付した受験票を必ず持参すること。
5. 英語科目は英和辞書（1冊）持ち込み可。電子辞書の持ち込みは不可。
6. 面接は、各系別にそれぞれの専門的知識を問う。

11. 合格発表

令和3年3月5日（金）10時

医学部保健学科玄関前に合格者の受験番号を掲示し、合格通知書を送付する。

なお、不合格になった者に対する通知はしない。電話等による可否の問い合わせには一切応じない。

参考として、長崎大学医歯薬学総合研究科の次のホームページに合格発表日11時以降に合格者番号のみを掲載する。（<http://www.mdp.nagasaki-u.ac.jp/index.html>）

なお、遺伝看護・遺伝カウンセリングコース、保健師養成コースにおいて、看護師国家試験不合格者は、本入学試験合格者であっても入学できない（入学に際しては改めての受験が必要となる。）。

12. 入学手続

合格した者は、下記により入学手続を行うこと

- (1) 入学手続期間・受付時間

令和3年3月15日（月）から令和3年3月19日（金）17時まで

- (2) 入学手続場所 長崎大学生命医科学域・研究所事務部学務課（保健学科担当）

- (3) 入学時の必要経費

入学金 …… 282,000円〔入学手続期間内に振込むこと〕

(注) 既納の入学料は返還しない。

参考：1. 令和2年度の授業料〔年額〕…… 535,800円

(前期分 267,900円, 後期分 267,900円)

2. 授業料の納入時期は、前期分4月、後期分10月である。

3. 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

4. 入学料及び授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。

1 3. 追加合格

入学辞退等により入学定員(募集人員)に欠員が生じたときは、追加合格を電話により通知することがあるので、不合格であっても、速やかに連絡が取れるようにしておくこと。また、入学の意思について回答できるようにしておくこと。

なお、連絡が取れない場合は、追加合格の資格を失うことになるので注意すること。

また、電話等による照会には応じない。

1 4. 注意事項

(1) 出願書類に不備がある場合には、受理しない。

(2) 出願手続後の提出書類の内容についての変更は認めない。

(3) 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しない。

(4) 提出書類等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがある。

1 5. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願開始2週間前までに、下記の内容を記載した申請書(様式は任意)に医師の診断書を添え、生命医科学域・研究所事務部学務課(保健学科担当)へ提出すること。

申請書等の内容を検討の上、配慮について通知する。

なお、入学者選抜においては、事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。

また、必要な場合は、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行なうこともある。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

☆ 本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っている。

【申請書の内容】

①志望専攻

②障がいの種類・程度

③受験上の配慮を希望する事項

④修学上の配慮を希望する事項

⑤出身学校等でとられていた配慮

⑥日常生活の状況

※ 志願者の住所・氏名・連絡先電話番号(FAX番号)を明記の上、次の申請先へ送付すること。

○申請先：〒852-8520 長崎市坂本1丁目7番1号

長崎大学生命医科学域・研究所事務部学務課(保健学科担当) TEL 095-819-7909

1 6. 個人情報の取扱

(1) 出願書類により取得された個人情報は、入学者選抜業務のために利用する。

また、合格者の個人情報は入学手続案内業務のため、入学者の個人情報は、学籍登録業務のために利用する。

(2) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験の成績は、奨学生への推薦資料並びに入学料免除等及び授業料免除等並びに各種奨学金の選考資料に利用する。

(3) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。

(4) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、以上の目的以外の目的で利用すること又は第三者に提供することはない。

17. 試験場までの交通機関

(1) 試験場

長崎大学医歯薬学総合教育研究棟 長崎市坂本1丁目7番1号

(2) 交通機関

「長崎駅前」から ○「赤迫」行路面電車に乗り、「大学病院」で下車，徒歩約10分

○「下大橋」行長崎バス⑧番（医学部経由）に乗り，「坂本町」で下車，
徒歩約5分

「航空機利用の場合」○「長崎空港（大村市）④番乗り場」から長崎方面行バス（「昭和町・浦上
経由」又は「住吉経由」）に乗り，「浦上駅前」（約55分）で下車，徒歩
約15分

18. カリキュラムの変更の可能性について

授業内容の充実を図る目的で，カリキュラムの変更があり得ることを，あらかじめご了承ください。

19. 試験に関する問い合わせ先

〒852-8520 長崎市坂本1丁目7番1号

長崎大学生命医科学域・研究所事務部学務課（保健学科担当） TEL 095-819-7909

入 学 案 内

1. 専攻、研究分野及び取得学位

専攻	研究分野	取得学位
保健学専攻	看護学	修士（看護学）
	理学療法学	修士（理学療法学）
	作業療法学	修士（作業療法学）

2. 研究テーマと指導等教員

研究分野	研究テーマ	指導等教員	電話番号	メールアドレス
看護実践科学	呼吸疾患に関する研究	石松祐二 教授	7941	yuji-i
	感染症疾患に関する研究			
	ストーマリハビリテーションに関する研究	澤井照光 教授	7990	sawai
	周術期合併症の予防に関する研究			
	慢性病患者の療養生活に関する研究	黒田裕美 教授	7955	hkuroda
	睡眠行動に関する研究			
	慢性期にある人のセルフマネジメントに関する研究	松浦江美 准教授	7924	emimatsu
	老年看護に関する研究	吉田浩二 准教授	7916	koujiy
	エイジズムに関する研究			
	急性期看護に関する研究	田中準一 准教授	7944	jtanaka
	ヘルスリテラシーに関する研究			
	開発途上国における健康、栄養に関する研究			
看護学分野	社会的不利な条件下にある人々の健康水準の改善に係る研究	大西真由美 教授	7943	mohnishi
	グローバリゼーションに伴う保健医療福祉専門職の国際移動に関する研究	平野裕子 教授	7940	hirano
	グローバリゼーション、多文化共生社会と健康に関する研究			
	健康・病気に関する社会学的研究	本田純久 教授	7945	honda
	社会疫学、保健統計学、地域保健学、国際保健学に関する研究			
	地域住民の健康づくり、QOL、地域社会活動に関する研究	中尾理恵子 准教授	7946	rieko
	地域在住高齢者に関する研究	川崎涼子 准教授	7936	rkawasaki
	保健師の人材育成に関する研究			
ヘルス プロダクティブ	新生児/乳児の睡眠・覚醒行動に関する研究	江藤宏美 教授	7922	heto
	妊娠・産褥期の母子の睡眠行動に関する研究			
	妊娠～産褥期のレストレスレッグス症候群に関する研究			
	ウィメンズヘルスと睡眠に関する研究			

研究分野	研究テーマ	指導等教員	電話番号	メールアドレス
看護学分野	助産ケアに関する研究	永橋美幸 准教授	7950	miyuki-a
	小児看護に関する研究	森藤香奈子 准教授	7981	kanako-m
	障害児・者とその家族支援に関する研究			
	遺伝看護に関する研究			
	遺伝看護、遺伝的課題を抱える人の理解と支援に関する研究	佐々木規子 准教授	7954	noriko-s
	母子に関する研究	藤田和佳子 准教授	7925	w_fujita
	アフリカにおける助産ケアの質に関する研究			
	resource-limited countriesにおける胎児心拍数モニタリング手法に関する研究			
	ウィメンズヘルスに関する研究			
理学療法学分野	高齢者の生活機能の評価と介入効果に関する研究	井口 茂 教授	7962	shigeru
	地域リハビリテーション活動の効果検証に関する調査・研究			
	関節拘縮、筋萎縮、慢性疼痛などの病態解明とリハビリテーション医療の効果に関する基礎医学的研究	沖田 実 教授	7965	mokita
	運動器障害に対するリハビリテーション医療の効果に関する臨床研究			
	リウマチ性疾患に関する研究	折口智樹 教授	7921	origuchi
	急性期および慢性期の呼吸・循環障害に対するリハビリテーション医療の効果に関する臨床研究	神津 玲 教授	7963	ryokozu
	集中治療室における重症患者の機能的予後と早期リハビリテーションに関する臨床研究			
	前十字靭帯断裂、変形性膝関節症の臨床研究	小関弘展 教授	7961	koseki
	廃用性骨萎縮、3次元動作解析、術後感染症に関する基礎研究			
	救急搬送患者の疫学研究			
	ペインリハビリテーションに関する基礎および臨床研究	坂本淳哉 准教授	7964	jun-saka
	這い這いに関する発達学的検討	鶴崎俊哉 准教授	7960	toshiya
	表面筋電図を用いた運動学的研究			
	慢性呼吸器障害に対するリハビリテーションの効果に関する臨床研究	田中貴子 准教授	7919	tanakataka
	慢性閉塞性肺疾患の早期発見に関する疫学研究			
	高齢呼吸器障害者に対する多職種連携による呼吸ケアに関する研究			

研究分野		研究テーマ	指導等教員	電話番号	メールアドレス
作業療法学分野	作業療法学	発達障害児・者の障害理解または支援に関する研究	岩永竜一郎 教授	7993	iwanagar
		神経・筋疾患のリハビリテーションに関する研究	佐藤克也 教授	7991	satoh-prion
		認知症疾患の高次機能及びバイオマーカーの研究			
		精神障害者のリハビリテーションに関する研究	田中悟郎 教授	7995	goro
		身体障害者のリハビリテーションに関する研究	東 登志夫 教授	7994	higashi-t
		作業・運動時の生理機能に関する研究	村田 潤 准教授	7923	jmura

- 連絡先 (電話番号) 095-819-□□□□
(E-mail) 「@nagasaki-u.ac.jp の表記を省略」
※ (例) goro@nagasaki-u.ac.jp